

狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

1 ジャンル

小学校5年生

総合的な学習

B4 表現・制作

児童生徒

2 概要

2学期間で調べたパラリンピックや、障害者の生活、高齢者の生活について、自分の考えを交えて発表ノートにまとめた。一人4～5枚程度で、プレゼンテーションになるように発表ノートにまとめた。

単元(題材)名

やさしい心でふれあおう

単元(題材)目標

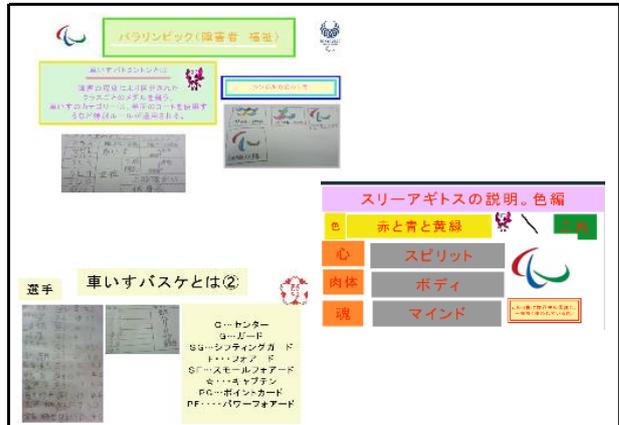
活用したICT機器、アプリケーション等

タブレット、スカイメニュー(インターネット検索、発表ノート、グループワーク)

本時のめあて

発表ノートにまとめる作業は4時間程度。今までの活動をいかして、人に伝わりやすい発表ノートを作ろう。

写真・記録



本時の展開の概要

基本的なページ順は学年でそろえたが、書く内容はそれぞれの思いを尊重した。今回は、各自がイラストをダウンロードし、挿入する作業をしたかったが、できなかったため、教員から素材を送ることを新しく活動に取り入れた。

児童生徒の様子(成果や課題)

発表ノートづくりにだいぶ慣れたので、作成時間が短縮されてきた。
使いたい素材を自分で撮影してトリミングしたり、教員にリクエストして素材を配布したりと作業が充実してきた。

発表ノートで作ったものをグループワークで見ると、そのまま他人の発表ノートが保存されていき、自分のフォルダーがどんどんたまってしまいうことが、問題点といえる。←提出箱が改善されたとのことで、今後試してみたい。(1月)

ICT機器の活用でねらった効果

発表ノートの操作
インターネットを使った情報収集

狭山市立柏原小学校 名前: